

局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

局名 **消防局**

基本計画	柱	きずなを結ぶ
	大項目	信頼のきずなによる安全で安心できるまちづくり
	取組みの方針	犯罪のないまちづくり

担当局 / 総務担当課名	消防局	人事企画課
連絡先	582 - 3805	

21年度計画

-1-(3)-

施策名 **防犯活動の強化**

施策の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	犯罪のないまちづくりを推進していくために、消防隊が業務出向時に警防調査と併せて登下校の児童を監視していくことで、抑止力となり、児童の犯罪被害を防止します。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	犯罪のないまちづくり

成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)	現状値		計画	平成21年度		目標値	
	年度	平成21年度		年度	平成25年度	年度	平成25年度
消防隊による児童見守りパトロール件数			実績	6,000 件			
児童が登下校時等に犯罪に巻き込まれないよう、関係機関と連携し、安全確保を行います。基本は消防隊による警防調査時に実施しますが、特に新学期には重点的に巡回します。	現状値	5,024件	達成度	5,024 件	目標値	7,000件	
				83.7 %			
	年度		計画		年度		
	現状値		実績		目標値		
			達成度	%			
	年度		計画		年度		
	現状値		実績		目標値		
			達成度	%			
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]			事業費	千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)	
				うち一般財源	千円	75 千円	

局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
成果指標の結果を踏まえ、構成事業の評価結果なども考慮し評価を行う。	B	通常業務の中で実施することからコストは発生せず、経済性や効率性は高いといえます。実施の効果は計れるものではありませんが、地域に消防車を走らせるだけでも犯罪者に対する抑止効果はあるといえ、また、警防調査等で地域事情に精通した部分でも監視の目を張ることができ、児童犯罪の防止につながります。児童虐待に対しても、救急事案の際に注視していくことで発見につなげることができます。
		今後局施策の方向性

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

評価担当部署の意見

適切な評価
 下記のとおり

目標値の考え方を示すことが必要と考えます。

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	消防局	警防課
連絡先	582-3817	

基本計画	柱	きずなを結ぶ
	大項目	信頼のきずなによる安全で安心できるまちづくり
	取組みの方針	犯罪のないまちづくり
	主要施策	防犯活動の強化

関連計画	政策大綱
事業期間	平成18年～
経費区分	

-1-(3)-

事業名	児童見守り消防隊		
事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	児童が登下校時等に犯罪に巻き込まれないよう、関係機関と連携し、安全確保を行います。具体的には、児童の登下校時に声掛けを実施したり、業務出向時に通学路のパトロールを実施します。	
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	成果
		防犯活動の強化	消防隊による児童見守りパトロール件数

目的実現の為に実施する内容 【手段】	実施工程	当初計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由		
			6,000件	6,000件	6,500件	6,500件	7,000件			
			市内全小学校区での「児童見守りパトロール」の実施 児童虐待に関する子ども相談センターへの通報						→	
		現状	5,024件	6,000件	6,500件	65,000件	7,000件		→	
			成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)					平成21年度	目標	
	実施状況		市内全小学校区での「児童見守りパトロール」の実施件数				計画	6,000 件	年度	平成25年度
			児童が登下校時等に犯罪に巻き込まれないよう、関係機関と連携し、安全確保を行っています。基本は消防隊による警防調査時に実施しますが、特に新学期には重点的に巡回しています。また、相談センターへの通報については、救急事案の対応時に注視しています。				実績	5,024 件	内容	7,000件
							達成度	83.7 %	内容	
							計画		年度	
							実績		内容	
						達成度	%	内容		
コスト		A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]				事業費	千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)		
						うち一般財源	千円	75 千円		
単年度計画		(斜線表示)							担当課のみ。ただし担当課以外に多くの関係部署が関わっています。	

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	当該事業は結果がすぐに現れるものではないため、実績のみで進捗状況は計れないところですが、地域住民との信頼関係が築かれつつあり、概ね計画通り達成されています。
------	-------------------------------------	--

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	3	消防隊の業務出向時等の通常勤務の中で実施する事業であり、追加コストはかかりませんが、当該事業のみを積極的に実施するわけではないので、最大限の成果が挙げられているとは言いがたいところがあります。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4	消防隊の業務出向時等の通常勤務の合間で実施する事業であるため、追加コストを必要とせず効率的です。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	近年、市民の安全安心を求める意識は非常に強く、その中でも児童の安全は最重要課題であるため、適時性は高いといえ、今後も継続して実施することが望ましいです。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすることはできないのか。	4	市民の安心安全を守るといことは行政の基本であり、市と地域との信頼関係を築く上でも市の積極的な関与が必要とされます。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ウ	現在の実施方法は、追加コストを必要としませんが、当該事業のみを積極的に実施するわけではありません。しかし、他に有効な代替案が無いこと、これまで実施してきた事業により、地域住民との信頼関係が築かれつつあることから、更なる成果を挙げるために継続して実施することが望ましいです。